PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 07099345 A

(43) Date of publication of application: 11.04.95

(51) Int. CI

H01L 33/00 H01L 23/29 H01L 23/31

(21) Application number: 05241449

(22) Date of filing: 28.09.93

(71) Applicant:

NICHIA CHEM IND LTD

(72) Inventor:

MATOBA KOSUKE KISHI AKITO NAKAMURA SHUJI

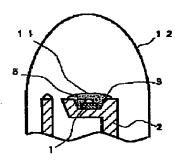
(54) LIGHT EMITTING DIODE

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide a LED capable of avoiding color mixture even if the LEDs in different wavelength are closely arranged when a fluorescent pigment is used while the focussing of converted and emitted light is enhanced for increasing the brightness of the LED when a wavelength conversion material is contained in a resin of LED for wavelength conversion of light emitting chip.

CONSTITUTION: A sealing resin of LED comprises the first resin 11 filling up the inside of a cup 3 and the second resin 12 encircling the first resin 11 while the first resin 11 contains the fluorescent material converting the light emitting wavelength of a light emitting chip to the other wavelength or a wavelength converting material 5 such as a filter material, etc., partly absorbing the light emitting wavelength thereby increasing the brightness, focussing efficiency due to the wavelength conversion light reflected on the cup 3.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-99345

(43)公開日 平成7年(1995)4月11日

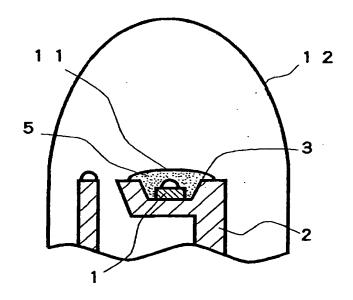
(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I			技術表示箇別
H01L 33/00	. N	•				
	A H					
	8	8617—4M 8617—4M	HO1L	00 / 00	B C . (全 4 頁) 最終頁に統<	
				23/ 30		
				Sotto or		
			木開水 開水	貝の数2 OL	(全 4 貝)	最終貝に続く
(21)出願番号	特願平5-241449		(71)出顧人	000226057		
	****			日亜化学工業	株式会社	
(22)出顧日	平成5年(1993)9月28日				上中町岡491番	地100
			(72)発明者	的場 功祐		
				徳島県阿南市	上中町岡491番	地100 日亜化
		•		学工業株式会	社内	
			(72)発明者	岸 明人		
			,	徳島県阿南市	上中町岡491番	地100 日亜化
				学工業株式会	社内	
			(72)発明者	中村 修二		
				徳島県阿南市	上中町岡491番	地100 日亜化
				学工業株式会	24-rks	

(54) 【発明の名称】 発光ダイオード

(57)【要約】

【目的】 LEDの樹脂に波長変換材料を含有させて発 光チップの波長変換を行う際、まず変換された発光の集 光をよくしてLEDの輝度を高めることを目的とし、ま た蛍光顔料を使用した際、波長の異なるLEDを近接し て設置しても混色の起こらないLEDを提供する。

【構成】 LEDの封止樹脂が、カップ3内部を充填する第一の樹脂11と、その第一の樹脂を包囲する第二の樹脂12とからなり、第一の樹脂11には発光チップの発光波長を他の波長に変換する蛍光物質、または発光波長を一部吸収するフィルター物質等の波長変換材料5が含有されていることにより、波長変換光がカップ3に反射されるため輝度、集光効率が向上する。



10

20

30

【特許請求の範囲】

【請求項1】 発光チップの発光を発光観測面側に反射 するカップの底部に発光チップが載置された発光案子全 体を、樹脂で封止してなる発光ダイオードであって、前 記樹脂は前記カップ内部を充填する第一の樹脂と、その 第一の樹脂を包囲する第二の樹脂とからなり、前記第一 の樹脂には発光チップの発光波長を他の波長に変換する 蛍光物質、または発光チップの発光波長を一部吸収する フィルター物質が含有されていることを特徴とする発光 ダイオード。

【請求項2】 前記第一の樹脂の樹脂に含まれる物質が 蛍光物質であって、前記第一の樹脂は前記カップの縁部 の水平面よりも低くなるように充填されていることを特 徴とする請求項1に記載の発光ダイオード。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は発光ダイオード(以下し EDという。)に係り、特に発光チップの発光波長を異 なる波長に変換する、または発光チップの発光を一部吸 収するLEDに関する。

[0002]

【従来の技術】図2は従来のLEDの一構造を示す模式 断面図であり、1は化合物半導体よりなる発光チップ、 2はリードフレーム、3は発光チップの発光を発光観測 面側に反射させる目的で設けられたカップ、4は発光素 子全体を封止する樹脂である。通常、樹脂4は発光チッ プの発光を空気中に効率よく放出する目的で透明度の高 い樹脂が選択されるが、他にその発光チップの発光色を 変換する目的で、あるいは色を補正する目的で、その樹 脂4の中に発光チップの発光を他の波長に変換する蛍光 物質、または発光波長の発光波長を一部吸収するフィル ター物質5(以下、波長変換材料5という。)が混入さ れる場合がある。この場合、波長変換材料5は樹脂4に 均一に分散するように混入されるのが通常である。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記の 目的で波長変換材料5を樹脂4中に均一に分散させる と、この図に示すように、波長変換された光、または不 要な波長がカットされた光は樹脂4中で四方八方に散乱 してしまい、集光が悪くなるという問題がある。図2の 矢印は発光チップの光が波長変換材料 5 にあたり、波長 変換された光が散乱する様子を模式的に示した図であ る。つまり、波長変換された光が散乱されることによ り、発光観測面側の光量が減少して輝度が低くなるので

【0004】また、波長変換材料5を蛍光物質に限定し た場合、新たな問題点として、異なる発光色のLEDを 接近して設置した際に、他のLED発光による蛍光物質 のよけいな発光の問題がある。例えば、青色発光チップ

なる青色発光チップのみからなる青色LEDとを同一平 面上に水平に近接して並べた場合、緑色LEDを消灯し て、青色LEDを点灯すると、青色LEDから洩れ出る 光、つまり散乱する光により、緑色LEDの蛍光物質が 励起され、消灯した緑色LEDがあたかも点灯したよう な状態となり、両LEDの混色が発生する。

【0005】従って本発明の目的とするところは、LE Dの樹脂に波長変換材料を含有させて発光チップの波長 変換を行う際、まず変換された発光の集光をよくしてし EDの輝度を高めることを目的とし、また蛍光顔料を使 用した際、波長の異なるLEDを近接して設置しても混 色の起こらないLEDを提供することをもう一つの目的 とする。

[0006]

【課題を解決するための手段】本発明のLEDは、発光 チップの発光を発光観測面側に反射するカップの底部に 発光チップが載置された発光素子全体を、樹脂で封止し てなるLEDであって、前記樹脂は前記カップ内部を充 填する第一の樹脂と、その第一の樹脂を包囲する第二の 樹脂とからなり、前記第一の樹脂には発光チップの発光 波長を他の波長に変換する蛍光物質、または発光チップ の発光波長を一部吸収するフィルター物質が含有されて いることを特徴とする。

[0007]

【作用】本発明のLEDは、発光チップの発光を第一の 樹脂内において所望の波長に変換、または不要な波長を 一部吸収する。このようにして波長変換された光は四方 八方に散乱するが、散乱した光のほとんどはカップによ り反射され、発光観測面側に集光される。つまり本願の カップは第一の樹脂内で波長変換材料により波長変換さ れた光を反射して集光できるので、変換光の集光効率が 格段に向上する。

【0008】さらに、波長変換材料を蛍光物質とした場 合、蛍光物質を含む第一の樹脂をカップの縁部の水平面 よりも低くなるように充填すると、外部から入射する光 がカップの縁で連られ、蛍光物質にまで到達しないこと により、LED間の混色を防止することができる。簡単 にいうと、カップ深さを深くして蛍光物質を含む第一の 樹脂がカップからはみ出さないようにすることにより、 蛍光物質の励起源を発光チップの発光波長のみに制限で きる。

[0009]

【実施例】図lは本願の一実施例のLEDの構造を示す 模式断面図であり、図2と同様に、カップ3を有するリ ードフレーム2上に化合物半導体よりなる発光チップ1 を載置した発光素子全体を、樹脂で封止した構造として いる。しかし、図2と異なるところは、封止樹脂がカッ プ3内部を充填する第一の樹脂11と、その第一の樹脂 を包囲する第二の樹脂12とからなり、第一の樹脂11 で緑色発光が得られる蛍光物質を含む緑色LEDと、単 50 には発光チップの発光波長を他の波長に変換、または一

部吸収する変換する波長変換材料5が含有されている。 【0010】本発明のLEDにおいて、第一の樹脂11 と第二の樹脂の材料は同一材料でもよく、例えば両方と もエポキシ樹脂で構成し、第一の樹脂にのみ蛍光物質5 を含有させればよい。さらに、第二の樹脂12の材料は 図2の樹脂4と同一でもよいことはいうまでもない。また、波長変換材料5は蛍光物質であれば蛍光染料、蛍光顔料、蛍光体等、発光チップの発光波長を他の波長に変換できる材料であればどのようなものを使用してもよく、またフィルター物質であれば発光チップの発光の不 要な波長を吸収し、色純度をよくする材料が選択され、 通常発光チップの発光色と同一色を有する無機、有機の フィルター顔料が使用される。

【0011】このような構造のLEDを得るには、例えばLED製造工程において、通常カップ3の空気を追い出す目的で、予め発光チップ1を載置したカップ内部を樹脂でプレディップするのであるが、プレディップする際に第一の樹脂11に波長変換材料5を含有させておき、波長変換材料5を含む第一の樹脂11が硬化した後、第二の樹脂12で封止することにより得ることができる。また予め波長変換材料5を含む第一の樹脂11をカップ3内部に注入してもよい。このようにして、波長変換材料5を含む第一の樹脂11をカップの3の内部に充填し、第一の樹脂11で波長変換された光のほとんどがカップ3の反射鏡内に戻り、発光観測面に反射することによりLEDの集光が格段に向上する。

【0012】また第一の樹脂11と第二の樹脂12とを 異なる材料とし、第一の樹脂11、第二の樹脂12の屈 折率を順に小さくして空気の屈折率1に近くなるように 設定することにより波長変換された光の外部量子効率が 向上する。なおこの場合、第一の樹脂11の材料には、 発光チップ1の屈折率よりも小さい材料を選定すること は言うまでもない。 【0013】図3、および図4は本発明の他の実施例に係るLEDのカップ3の部分を拡大して示す模式断面図であり、図3は第一の樹脂11の表面が凸状になって硬化してカップ3に充填された状態、図4は逆に凹状となって硬化して充填された状態を示している。いずれの状態においても、波長変換材料5を蛍光物質とした場合、その蛍光物質を含む第一の樹脂11がカップ3の縁部の水平面よりも低くなるように充填されており、カップ3からはみ出していないので、カップ3の縁部により蛍光物質を励起する外部光を遮断でき、LEDの混色を防止することができる。

[0014]

【発明の効果】以上説明したように、本発明のLEDはカップ内部に波長変換材料を含有する第一の樹脂を充填しているため、変換光がカップ内部で反射して集光されるため、輝度は倍以上に向上する。また、蛍光顔料を第一の樹脂に含有させて波長変換を行う場合、カップ深さを深くして、第一の樹脂がカップからはみ出さないようにすることにより、LED間の混色が発生せず、例えばLEDで平面ディスプレイを実現した際には、非常に解像度のよい画像を得ることができる。

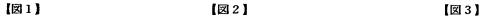
【図面の簡単な説明】

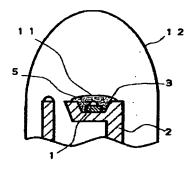
- 【図1】 本発明の一LEDの構造を示す模式断面図。
- 【図2】 従来のLEDの構造を示す模式断面図。
- 【図3】 本発明の他の実施例に係るLEDのカップ3 の部分を拡大して示す模式断面図。

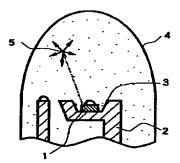
【図4】 本発明の他の実施例に係るLEDのカップ3 の部分を拡大して示す模式断面図。

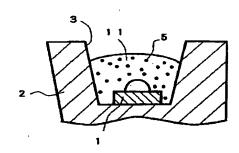
【符号の説明】

1・・・発光チップ2・・・リードフレーム3・・・カップ5・・・波長変換材料11・・・第一の樹脂12・・・第二の樹脂

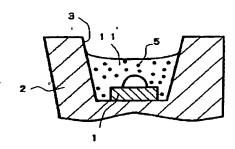








【図4】



フロントページの続き

H 0 1 L 23/29

23/31

(51) Int.C1.6

識別記号 庁内整理番

FΙ

技術表示箇所